

令和4年度 第4回吉川区地域協議会次第

日時：令和4年6月16日（木）午後6時30分
場所：吉川コミュニティプラザ 大会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報告事項

(1) 会長報告

(2) 委員報告

(3) 事務局報告

4 協議事項

(1) 中山間地域農業の維持・振興に向けたワークショップの開催状況と今後の展開について

(2) 自主的審議事項等について

(3) その他について

5 総合事務所からの諸連絡について

6 そ の 他

・次回地域協議会の日程調整

7月21日（木） 18時30分から
吉川コミュニティプラザ

7 閉 会

吉川区地域協議会資料

中山間地域農業の維持・振興に向けた 地域自治区別ワークショップ(みらい農業づくり会議) 開催状況及び今後の展開

令和4年6月16日(木)

上越市中山間地域元気な農業づくり推進協議会
柿崎区推進チーム

○中山間地域農業の維持・振興に向けて、地域自治区別に「みらい農業づくり会議」を設置し、ワークショップにより検討しています

○令和3年度の開催状況と、今後の展開について報告します

中山間地域農業の維持・振興 「ありたい姿」(将来の方向性)

地域農業者が
主体的に議論し、
共有する

課題解決に向けたテーマ別方策

担い手・後継者の確保



農業生産維持に向けた
作物選定・所得確保



農業機械・スマート農機の
共有化・共同利用



土地利用の明確化・
農地条件の改善



活動のエンジンとなる組織

市の役割

推進チーム(市・県・JA・農業委員会)として

「ありたい姿」の実現に向けて定められた方策に対する各種支援

令和3年度

幅広い参加者が率直な意見・考えを出し合い、
中山間地域農業のあるべき姿、理想的な姿を共有し、
4つのテーマごとに、実現に必要な取組を見出す

令和4年度

- 見出された必要な取組の具体化を検討・共有
「いつ」 「誰が」 「どうやって」
- 取組を下支えする「活動のエンジンとなる組織」の検討

令和5年度以降

共有された取組の実践

中山間地域等直接支払交付金 集落戦略の作成などの各種施策へも反映

- ・ 中山間地域等直接支払制度に取り組む地区がある

7の地域自治区で各2回開催

～理想的な中山間地域農業のあるべき姿を広域的観点で探る

- ・ 直接支払集落協定や集落の役員だけでなく、

若手や女性など幅広い世代の農業者が参加

～発言しやすい環境づくりのため、性別・年代を偏らせたグループ編成

- ・ 話し合いを促すファシリテーターとして

市、県、農業委員会、農協で構成する「推進チーム」を編成

～各々が担当する立場で、地域の意見を吸い上げる心構えで臨む

延べ14回・444名が議論に参加

谷浜・桑取区
12月14日(火)・3月29日(火)
延べ60名参加

名立区
8月20日(金)・12月21日(火)
延べ69名参加

板倉区
11月26日(金)・3月22日(火)
延べ56名参加

吉川区
11月19日(金)・3月23日(水)
延べ63名参加

大島区
11月30日(火)・3月24日(木)
延べ69名参加

安塚区
11月25日(木)・3月25日(金)
延べ65名参加

牧区
11月29日(月)・3月23日(水)
延べ62名参加

※浦川原区:明治大学主導のフューチャーデザイン・ワークショップ
※中郷区・清里区:新潟県主導のビレッジプラン
※柿崎区:第5期対策開始時に協定広域化議論実施済

第1回開催(令和3年11月19日)

第2回開催(令和4年3月23日)

人・農地・地域の
「強み」「弱み」
の洗い出し

「強み」を伸ばし、
「弱み」を克服する
“方策”の検討

取組方向性の決定
今取り組めるもの、将
来取り組むべきもの
の検討

キャッチフレーズ
の決定

ワークショップ参加者の約束ごと

気軽に、楽しく、中身濃く

- ・自分ばかり話しません
- ・相手の意見を否定しません
- ・楽しい雰囲気を大切にします
- ・参加者は対等です
- ・皆が気持ちよく話せるようにします

第1回 地域の「強み」「弱み」と「方策」の洗い出し

第2回 方向性の決定と必要な取組の検討



意見の整理

集計結果から見えた取り組みの方向性

- 吉川区の農業・暮らしを守るために、
- ①「人口減・少子高齢」を一定程度受容しつつ、「人間性・地域性」を活かし、「人・担い手」の確保につなげていく
 - ②「特徴・自慢・素材」を活かして、「活力・付加価値」を見出していく
 - ③「フィールド」の問題・課題を解決していく

将来に向けた方向性

担い手・後継者の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域のまとまり」を活かし、非農家の協力や担い手への集積、また集落を超えた連携を推進するなど、地域内でできる対策を講じます。 ・将来に向けて、広域的な集落営農・法人化など新たな農業生産体制への移行を目指します。 ・将来的には、移住・定住者を増やします。
農業生産維持に向けた作物選定・所得確保	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川区「らしさ」「ならでは」を活かし、「山・水・農」のパッケージ化と「歴史・文化」のストーリー化により「吉川ブランド」を確立させます。 ・SNSやネット販売などを通じて吉川ブランドを発信します。
農業機械・スマート農機の共有化・共同利用	<ul style="list-style-type: none"> ・既存制度を有効活用した先進機器導入や将来を見据えた機械の共同利用を促進します。 ・「担い手・後継者」「土地利用・農地条件」に関する取組とあわせた一体的な対策をします。
土地利用の明確化・農地条件の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に行った「集落戦略」を見直し、第6期対策(令和7年度～)に向けて守るべき農地を明確化します。 ・その上で、将来を見据えた計画的な農地・農業用施設の整備・修繕等を実施します。

活動のエンジンとなる組織の育成強化(上記を下支え)

参加者の率直な考えを付箋に書き出し、
関連するカテゴリーに分類するとともに、さらにグルーピング

吉川区では、

付箋枚数**360枚**

に及ぶ強み・弱み・方策を洗い出し

課題解決に向けたテーマ	見出された取組の例	
	今取り組めるもの	将来取り組むべきもの
担い手・後継者の確保	<ul style="list-style-type: none"> 移住、体験の受け入れ 移住者用住宅整備 移住・定住希望者向けホームページやSNS発信 吉川の良さRR 地域おこし協力隊の導入、増員 半農半X 農的起業 志向の人呼びこむ 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者を担い手に育てていく 移住、定住者の住まいの確保 農業以外の移住・定住者の確保 IT企業者 SNSでの投稿 地域おこし協力隊の定住を進める 集落外の協力者を確保する
作物選定・所得確保	<ul style="list-style-type: none"> 吉川を知ってもらう施設等のPR、拡大 ブランド力より米だったら品質を向上させて直接販売で収入UP(内外) 吉川区をエリアで分け特徴(良いところ、うり)を発掘しエリア別に米などブランド化 既存の販売、組織を利用し栽培方法の統一 	<ul style="list-style-type: none"> 地元で吉川の農産品のファンを増やしSNSで発信 期待！ 品質の統一化を図り現在するネット販売と協力 エリア別に、3種類くらいのブランド化 米 + α の商品開発
機械共同化・スマート農機導入	<ul style="list-style-type: none"> ドローンクラブを作って遊びながら楽しい農業をする 機械の共同利用を進める 中山間地にあった先進機械の説明会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 労力の軽減のためドローンの活用 自走式草刈り機の導入 地区にあったICTの選定
土地利用・農地条件	<ul style="list-style-type: none"> 集落農地を耕作者別に色塗りする 小作者に補助金を出す 	<ul style="list-style-type: none"> 色分けした農地を寄せて団地化する 中山間地等直接支払第6期に向けての広域協定の維持

移住者に関することが多い

SNS発信やブランド化が多い

スマート農機に関心が高い

守る農地の見える化

キャッチフレーズ 吉川区らしさである人のあたたかさや自然の多様さを活かし、
移住の促進と交流人口の拡大することにより、担い手農家の確保・育成を図ります

6~7月

稲刈り後

第3回みらい農業づくり会議

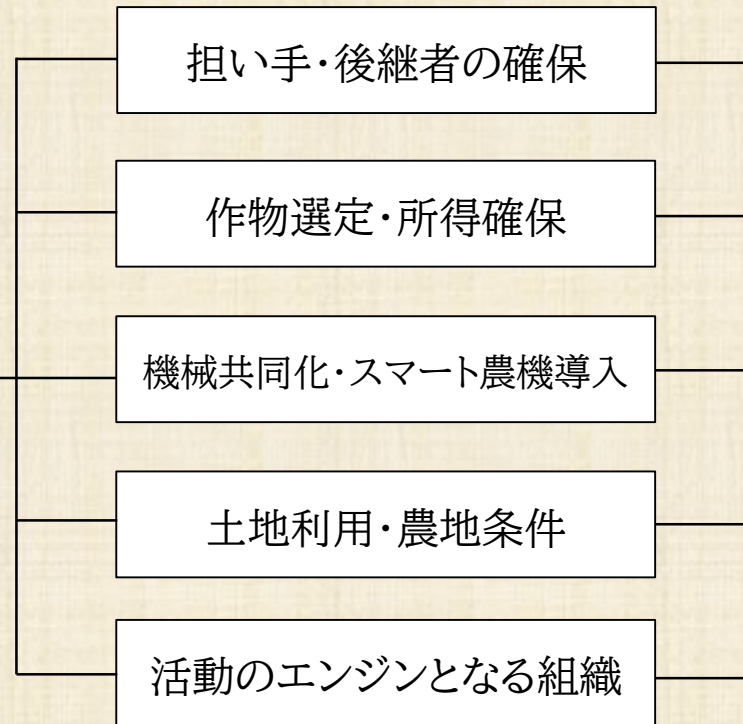
グループワーク

第4回みらい農業づくり会議

第2回目の議論で見出された
テーマ別の「必要な取組」

「今取り組めるもの」
「将来取り組むべきもの」

を、グループワークでの
議論材料として整理

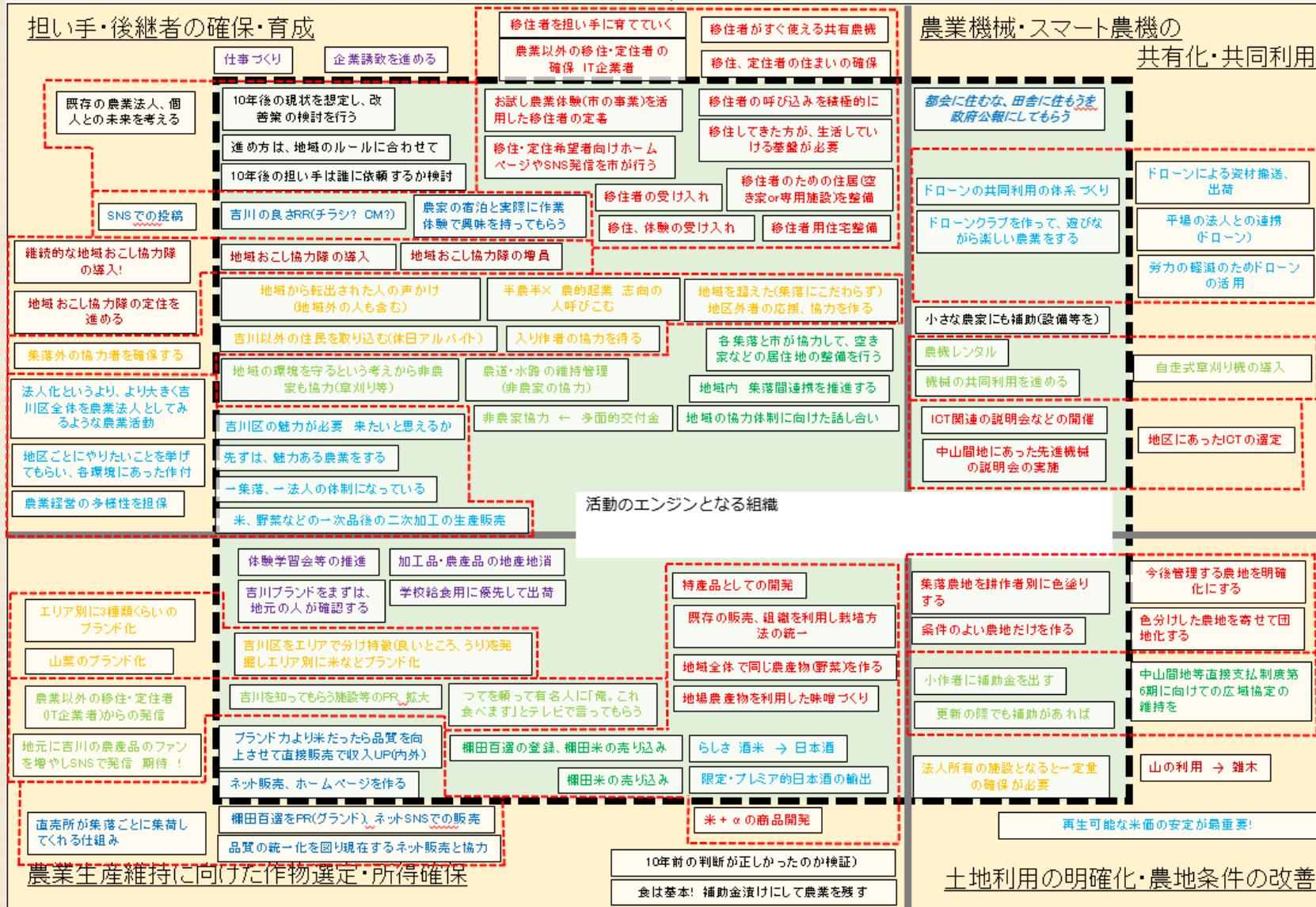


グループワークでの
議論を集約化し、
地域将来ビジョン

として決定・共有

課題解決のテーマ別に取組の具体化を議論
(いつ、誰が、どうやって)

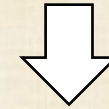
各種取組を展開



集約化した上で、整理

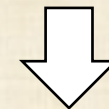
同じ取組でも、

- ・「今」「将来」の双方にある
- ・複数のテーマにまたがっている



その取組が属するべきと思われる「テーマ」「時間軸」をグループごとに話し合って整理

活動のエンジンとなる組織のイメージを整理



中山間地等直接支払交付金の概要

第4回吉川区地域協議会
令和4年6月16日
資料1-2

①交付対象面積

協定の名称	協定区分	対象農用地面積			
		合計	急傾斜合計	緩傾斜	高齢化・耕作放棄
川谷・石谷集落協定	集落	347,757	309,588	38,169	0
みなもと地区広域協定	集落	847,513	574,363	273,150	0
国田集落協定	集落	127,218	28,994	98,224	0
福平・長坂集落協定	集落	154,729	10,417	144,312	0
東田中集落協定	集落	134,577	9,424	125,153	0
天林寺集落協定	集落	78,743	28,943	49,800	0
平等寺集落協定	集落	33,501	0	0	33,501
伯母ヶ沢集落協定	集落	60,879	8,718	52,161	0
後生寺集落協定	集落	100,012	9,284	90,728	0
赤沢集落協定	集落	111,982	15,421	96,561	0
三ヶ字集落協定	集落	65,983	11,560	54,423	0
町田集落協定	集落	39,200	2,501	36,699	0
泉集落協定	集落	198,616	194,953	3,663	0
農事組合法人FFS	個別	68,463	4,195	64,268	0
農事組合法人山ゆりの里	個別	26,178	1,078	25,100	0
合計		2,395,351	1,209,439	1,152,411	33,501

②吉川区全体交付金額

48,376,414 円

③構成集落の概要

協定名	構成集落					
	構成数	集落名				
川谷・石谷集落協定	2	川谷	石谷			
みなもと地区広域協定	10	名木山	大賀	村屋	稲古	川袋
		大岩	米山	山中	高沢入	坪野
国田集落協定	1	国田				
福平・長坂集落協定	1	福平・長坂				
東田中集落協定	1	東田中				
天林寺集落協定	1	天林寺				
平等寺集落協定	1	平等寺				
伯母ヶ沢集落協定	1	伯母ヶ沢				
後生寺集落協定	1	後生寺				
赤沢集落協定	1	赤沢				
三ヶ字集落協定	1	三ヶ字				
町田集落協定	1	町田				
泉集落協定	1	泉				
農事組合法人FFS	1	東寺				
農事組合法人山ゆりの里	1	道之下				
	25					

吉川区

地域協議会だより

(第44号) 令和4年7月発行
発行 吉川区地域協議会
編集 たより編集委員会
事務局 吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ
TEL 025-548-2311

令和4年度 吉川区に係る上越市地域活動支援事業

提案事業の審査終了 8事業を採択

今年度吉川区内で行う地域活動支援事業として、4月1日から4月21日まで提案を募集したところ、10事業、補助希望額673万9千円の提案がありました。これは、吉川区への配分額560万円に対して、113万9千円上回る内容でした。

これを受け、吉川区地域協議会では、5月12日に提案者によるプレゼンテーションを実施、審査、採点を行いました。

吉川区にとって有益な事業であるか否かをポイントに、5月19日に審査、採択を行った結果、8事業の採択を決定しました（内容は次ページ以降をご覧ください）。



○『吉川区と上杉家の繋がり』大乗寺遺産保存・伝承・振興事業

- ・提案者：大乗寺町内会
- ・補助金額：479,000円（事業費：484,180円）
- ・事業の概要：大乗寺の地名の由来となった「大乗寺」の住職は、上杉謙信にゆかりがある人物であり、大乗寺跡に建つ大師堂は、今も地域の人々が大切に守り続けている。歴史的遺産の価値を区内外に発信するため、講演会や武禊式を実施し、案内看板の設置を行う。



↑上越市「地域の宝」に認定された大乗寺の「五輪塔」

○落語寄席事業

- ・提案者：夢をかなえる会
- ・補助金額：299,000円（事業費：339,000円）
- ・事業の概要：新型コロナウイルス感染症の影響で沈滞した状況を、笑いで少しでも明るい方向に向かえるよう、上越市出身で吉川区とも以前からつながる「三遊亭白鳥さん」を迎え、寄席を開催する。



↑お知らせの広告

○長峰城保存活用事業

- ・提案者：越後長峰城址保存会
- ・補助金額：1,000,000円（事業費：1,083,000円）
- ・事業の概要：長峰城址の整備、見学会を行うとともに、説明板や案内看板、普及パネルを作成するなど広報・啓発活動を行い、地域の宝として、長峰城址をPR、保存していく。



↑見学会（令和3年度実施）

○尾神岳パラグライダーランディング整備事業

- ・提案者：尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会
- ・補助金額：1,000,000円（事業費：1,000,000円）
- ・事業の概要：尾神岳スカイスポーツエリアの安全面の強化を図るとともに、更に多くの選手や一般フライヤーの集客が可能となる大きな大会開催を計画できるよう整備・改修する。また、パラグライダー大会に併せて尾神そば早食いイベントを実施し、賑わいを創出する。



↑尾神岳を飛び立つパラグライダー

○天岩戸尾神伝説 PR 事業

- ・提案者：水源地域振興対策協議会
- ・補助金額：800,000円（事業費：805,000円）
- ・事業の概要：紙芝居や御朱印の作成、岩戸伝説の地の周辺整備を行い、市内外に発信してきた「悠久の歴史かおる尾神岳伝説（天岩戸尾神岳伝説）」の更なるPRと賑わい創出を目指し、散策道の整備、のぼり旗やPRチラシの作成、現地説明会・講演会の開催などを行う。



↑岩戸伝説の地（尾神地内）

○「地域のお宝自慢」探検隊事業パート2 地域のお宝マップづくり事業

- ・提案者：吉川区青少年育成会議
- ・補助金額：494,000円（事業費：564,000円）
- ・事業の概要：地域の伝統行事・料理、文化財、特産品、景観等のさまざまな地域の魅力について、子どもたちが地域の人からの聞き取りや現地調査・文献等を通して、地域の魅力を再発見し、「お宝自慢カード」にまとめグループごとに「地域のお宝自慢集」を作成する。



↑活動の様子（パート1 令和3年度実施）

○吉川区昭和と平成の記憶記録事業

- ・提案者：里山文化研究会
- ・補助金額：350,000円（事業費：378,000円）
- ・事業の概要：地域のオーラルヒストリーを記録(DVD化)することで、吉川区という地域から見た昭和の時代の社会の変化を描く。地域の歴史証言を記録し、地域の将来文化の礎を築く事業に取り組むもの。



↑インタビューの様子（令和3年度実施）

○よしかわ道の駅活性化促進事業

- ・提案者：吉川観光協会
- ・補助金額：591,000円
（事業費：592,000円）
- ・事業の概要：よしかわ杜氏の郷、ゆつたりの郷、四季菜の郷、くつろぎ長屋、トイレなど道の駅各施設の配置や紹介、年間行事やイベントを掲載した「よしかわ道の駅案内図」を製作し、区内住民や来訪者に配布する。また、案内図完成と同時に芸能イベントを開催する。



↑よしかわ道の駅（長峰温泉ゆつたりの郷、よしかわ杜氏の郷）

市長と意見交換会を行いました

令和4年5月26日、中川上越市長と吉川区地域協議会委員で意見交換を行いました。

当協議会委員7人が参加し、上越市役所木田庁舎で、市が行う地域自治推進プロジェクトや第7次総合計画、観光振興、公共交通などについて、約1時間に渡り市長と意見を交わしました。

意見交換の中で市長は、「(地域協議会の皆さんには)吉川区の魅力とは何なのか、外から来られた人の視点も踏まえながら、もう一度考えてみてほしい。そして地域住民の皆さんには、自分たちの区、上越市を愛してもらい、それを子どもたちにも伝えて行ってほしい」と話し、「地域を愛する」ことが政策の原点であることを強調しました。

地域協議会からは、「住民が本質を理解しないまま市の事業が進む」「地域協議会への協議や説明がないまま地域に入る」ことがないよう改めて話すとともに、「地域に密着したやさしい行政」をお願いしました。



皆さんの意見をお聞かせください！

地域協議会では、今後、吉川区の地域活性化の方向性について検討します。

「こんな事業をしたら吉川は元気になるんじゃないか」「こうなったら吉川はもっと良くなるのに」「吉川区の魅力はコレ！それを伸ばしていこうよ」など、気軽に地域協議会にアイデアやご意見をお寄せください。

詳しくは吉川区総合事務所・総務地域振興グループまでお問い合わせください。



【編集後記】 早いもので、5期目の地域協議会も後半となりました。

今年度で地域活動支援事業は終了し、来年度からは、吉川区が直面する多くの課題の解決や吉川区の実情を考え将来を見据えた事業を、地域で提案していくこととなります。

個人的には、自然豊かで安全安心に暮らせる魅力ある吉川区をアピールしつつ、今までにない独自の発想で、若者も定住しやすい地域を目指す必要があると思います。また、吉川区特有の温泉や酒文化の伝統を次代に継承することも大事なことであります。

住民の皆さんや地域で活動する団体の皆さん、総合事務所、地域協議会が声を出し合い、一緒になって、これまで以上に地域のことを考える必要があります。

地域の皆さん、ご協力お願いします。